

消費者動向調査 No.116

テーマ「夏のボーナス使いみち調査」

◆ 調査時期 平成 27 年 4 月

◆ 調査対象 福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
(うち回答者 488 人、回答率 97.6%)

◆ 回答者区分

A.年代

	%
20代	5.1
30代	21.5
40代	36.7
50代	26.0
60代	10.7

B.あなたのご家庭で

ボーナスがあるのは

	%
夫だけ	44.7
妻だけ	11.7
両方	43.6

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。

西日本シティ銀行
NCBリサーチ&コンサルティング

[調査結果本文]

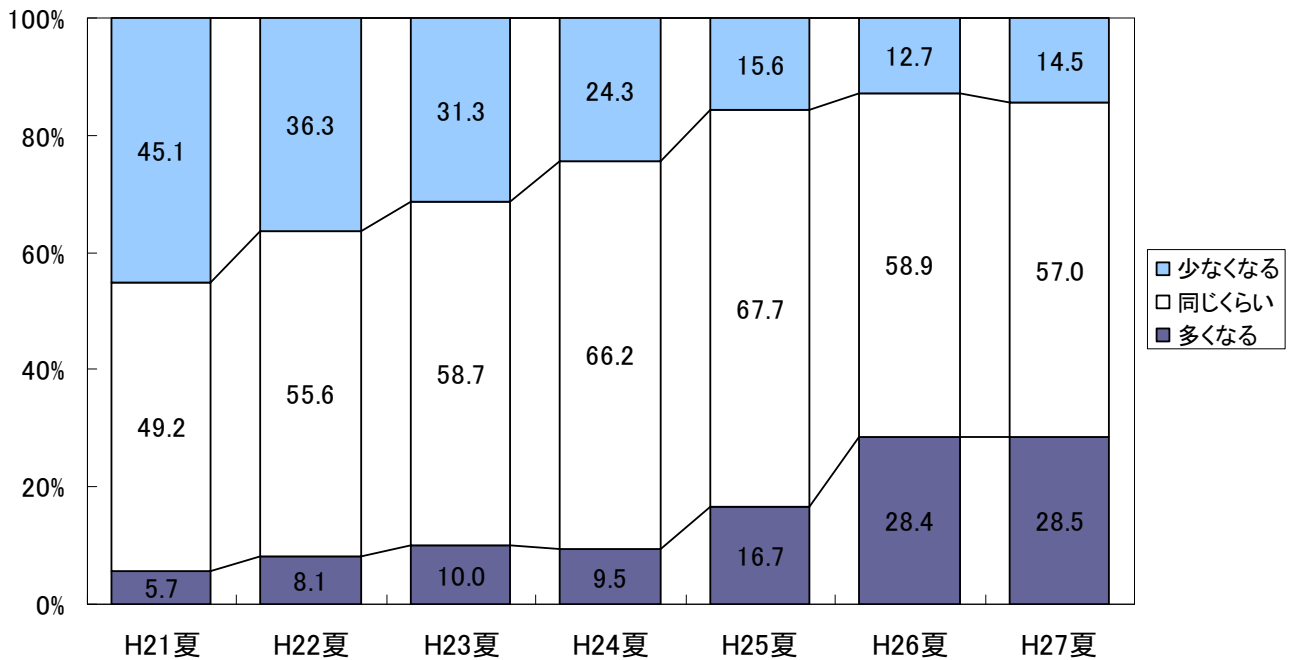
内閣府は5月の月例経済報告で、「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」と発表しています。先行きについては、「雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。」としています。

このような中、消費者はこの夏のボーナス受給額をどのように予想し、どのように消費しようと考えているのでしょうか。また、夏のボーナスの使いみちについて、これまでと違った傾向は表れつつあるのでしょうか。ボーナス受給を間近にひかえ、福岡県在住の主婦を対象に夏のボーナスについての消費動向をたずねました。

◆ 今年の夏のボーナス、前年夏と比較して「多くなる」は0.1ポイント増加し、28.5%で過去最高。

夏のボーナスが前年夏より「多くなる」と予測する割合は0.1ポイント増加し28.5%で、過去最高となった。「少なくなる」は1.8ポイント増加し14.5%、前年夏と「同じくらい」は1.9ポイント減少し57.0%であった。

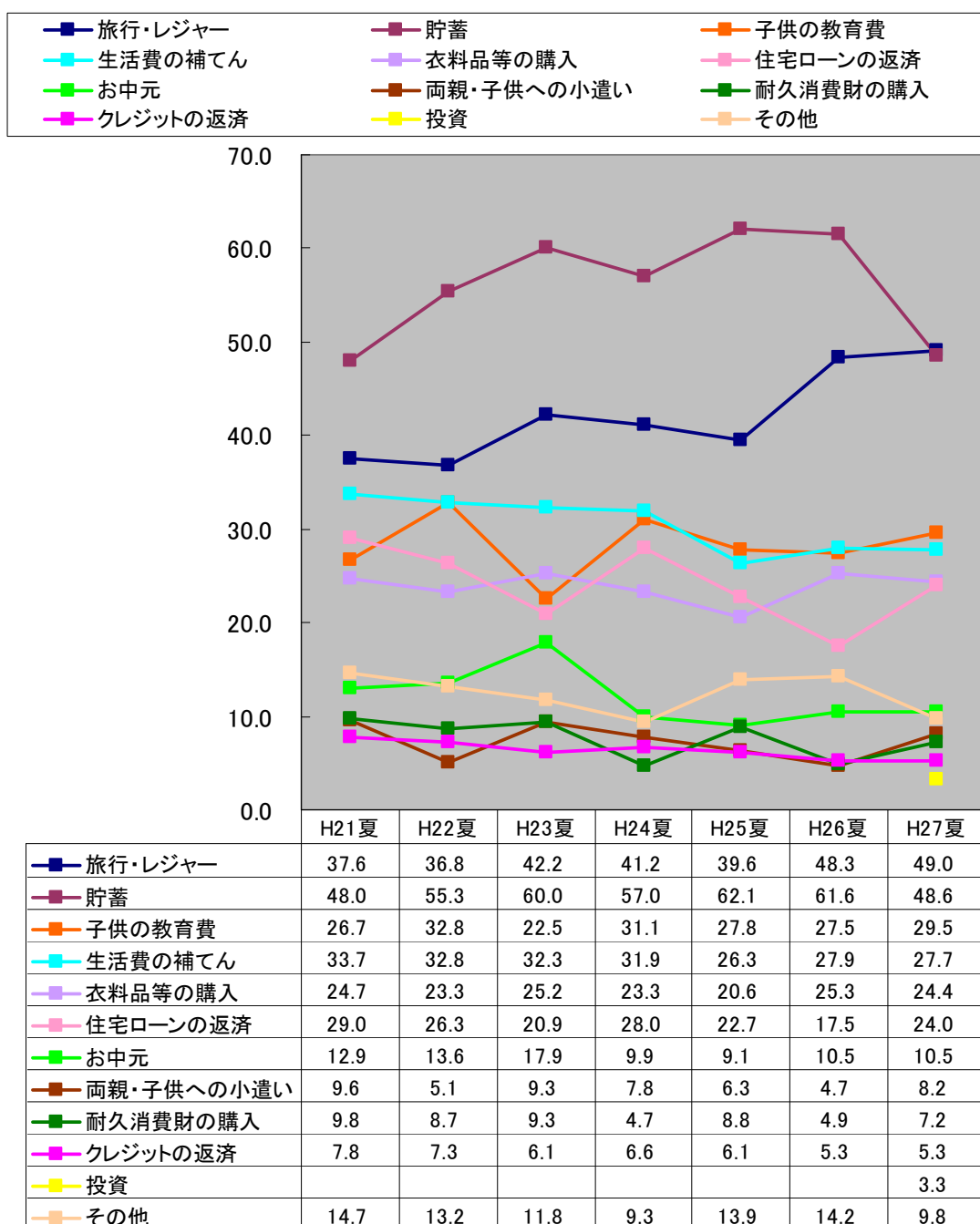
[グラフ1：夏のボーナスは昨年に比べどうなると予想していますか] (単位：%)



◆夏のボーナスの使いみち予定、1位は「旅行・レジャー」で49.0%。2位は「貯蓄」で48.6%。「貯蓄」以外が1位になるのは初めて。

夏のボーナスの使いみち予定1位は「旅行・レジャー」で49.0%。これは前年夏の48.3%より0.7ポイント増加した。2位は「貯蓄」で13.0ポイント減少して48.6%。3位は「子供の教育費」で29.5%となった。

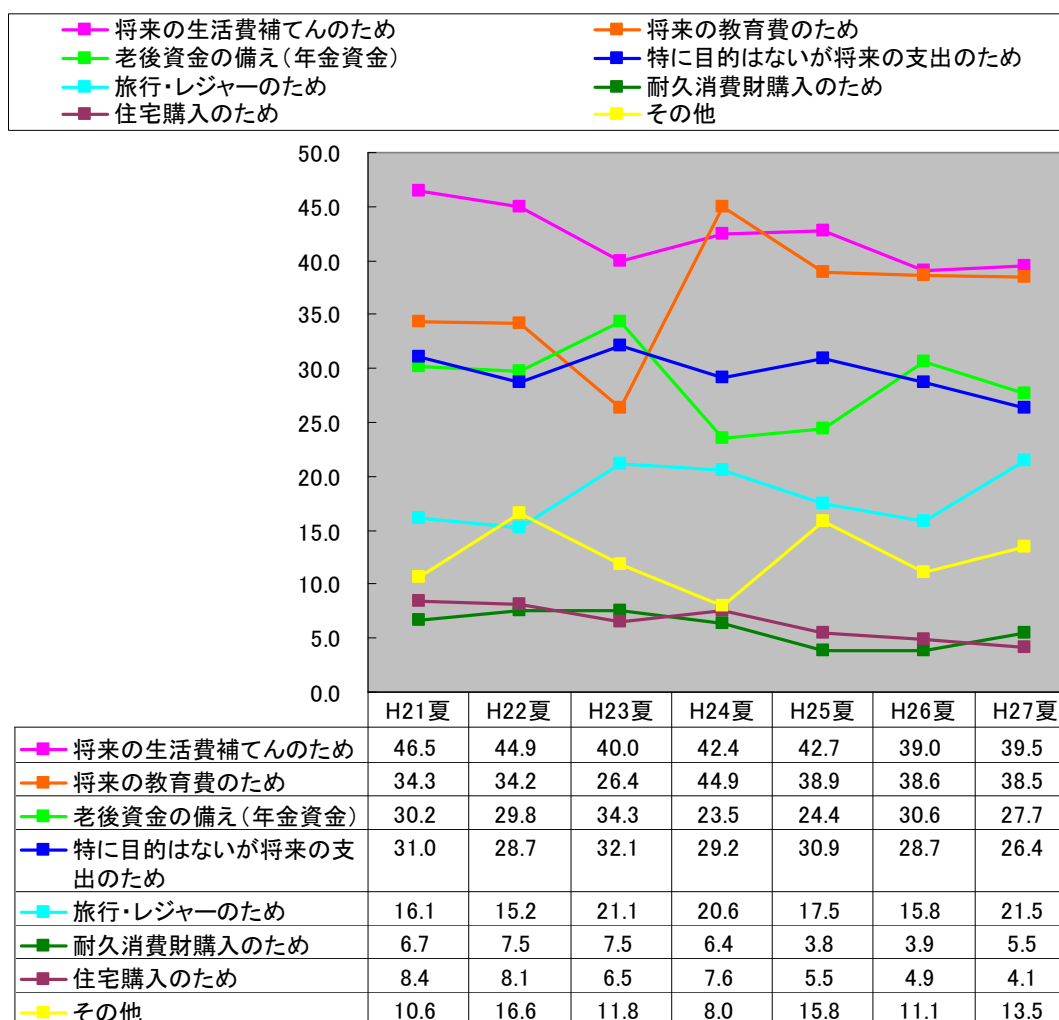
[グラフ2：夏のボーナスは何に使う予定ですか（3つまで）] (単位：%)



◆ボーナスを貯蓄・運用する目的、1位は「将来の生活費補てんのため」で39.5%。2位は「将来の教育費のため」で38.5%。

夏のボーナスを貯蓄する目的の1位は、「将来の生活費補てんのため」で前年夏に比べ0.5ポイント増加し、39.5%。2位は「将来の教育費のため」で0.1ポイント減少し38.5%であった。引き続き将来への備えが上位を占めた。

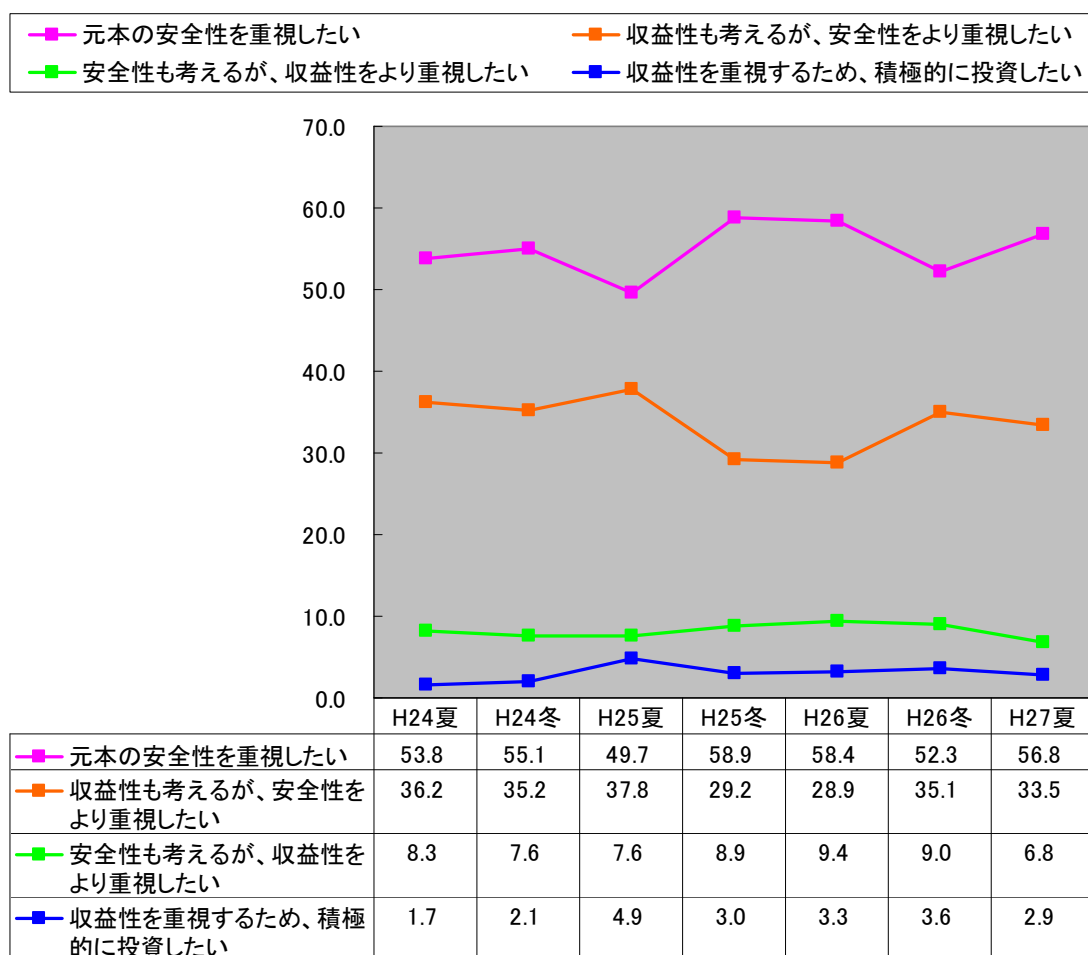
[グラフ3：将来の何のために夏のボーナスを貯蓄・運用しますか（2つまで）]
(単位：%)



◆夏のボーナスを貯蓄・運用する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が56.8%で1位。

「元本の安全性を重視したい」が前年の冬から4.5ポイント増加の56.8%で10期連続1位。
 「収益性も考えるが安全性をより重視したい」が前年の冬から1.6ポイント減少して33.5%。
 景気は緩やかな回復基調にあるものの、安全性を重視する割合が引き続き高水準である。

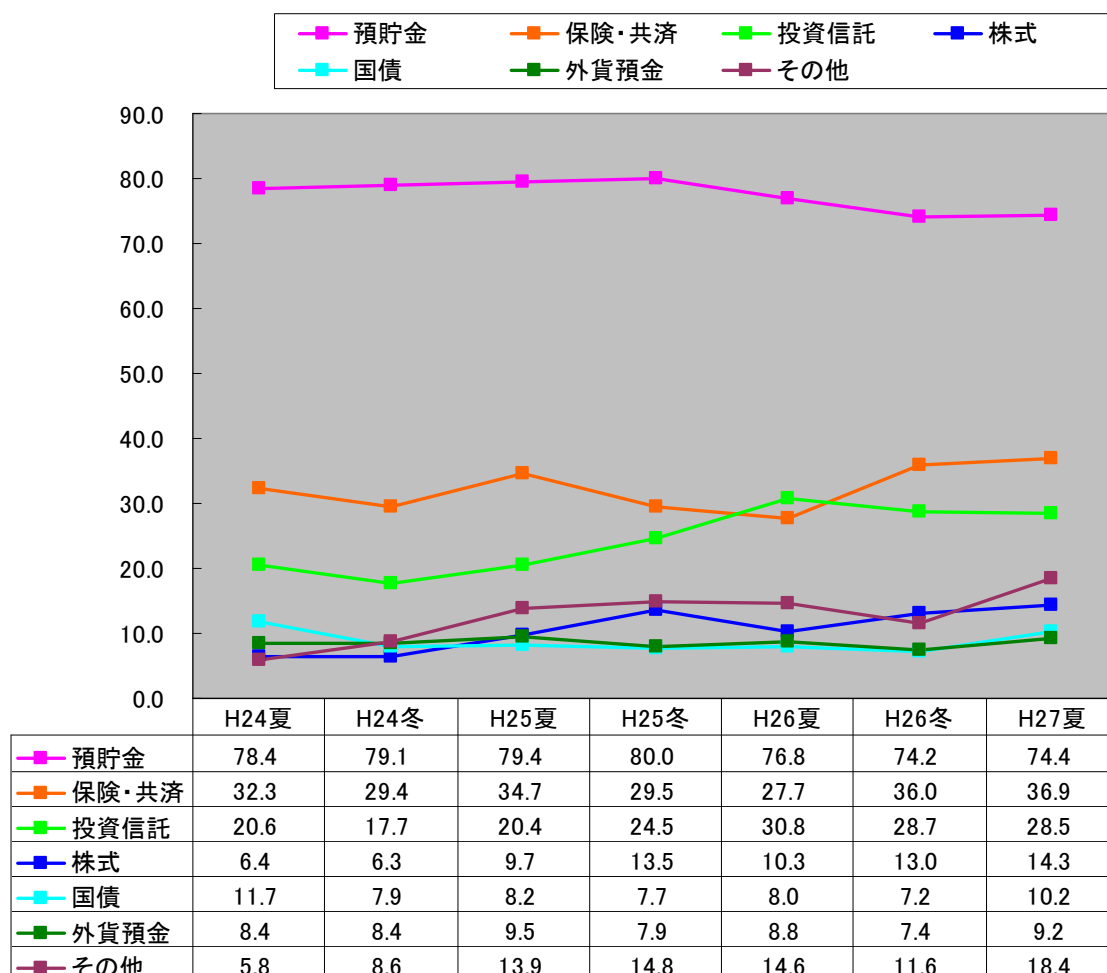
[グラフ4：夏のボーナスを貯蓄・運用する場合、あなたの考えに近いのは]
 (単位：%)



◆関心がある金融商品、1位は「預貯金」で前年の冬より 0.2 ポイント増加し 74.4%。

現在関心がある金融商品は「預貯金」が 74.4%で 1 位。2 位は「保険・共済」が 36.9%で過去最高となった。景気の緩やかな回復基調のもと、ほぼすべての金融商品への関心が増加した。

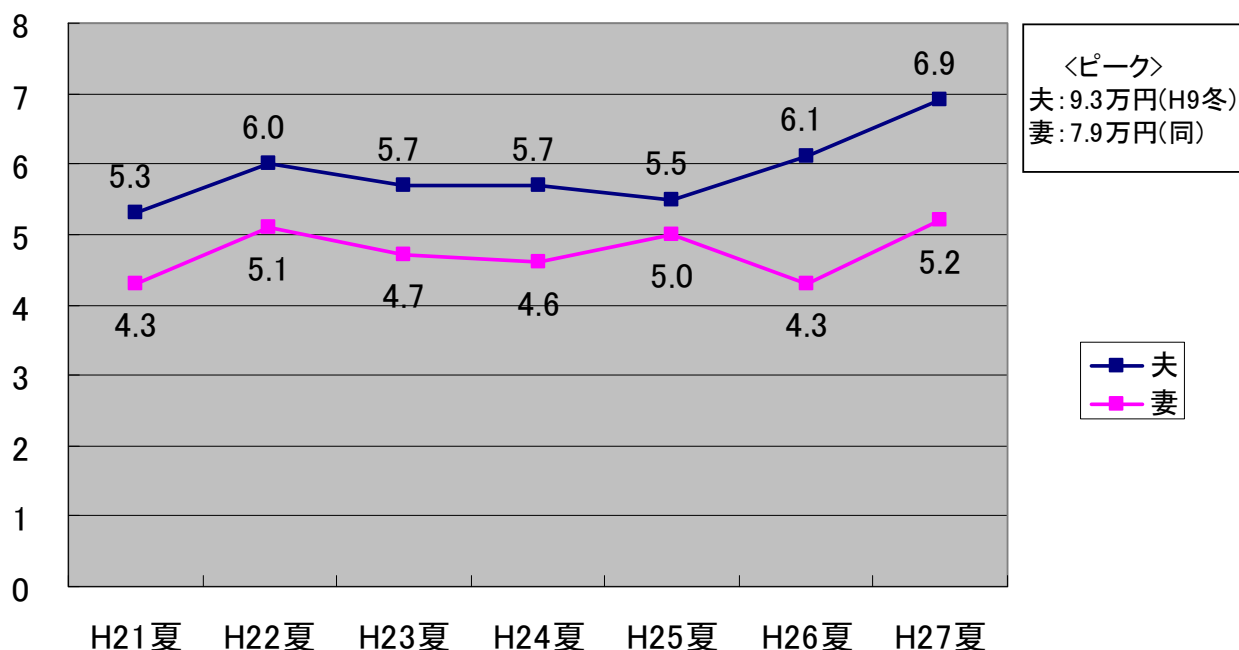
[グラフ 5：どのような金融商品に関心がありますか (いくつでも)] (単位：%)



◆夏のボーナス、自由に使える金額は、前年夏に比べて夫は 8 千円アップ。妻は 9 千円アップ。

夏のボーナス、夫が自由に使える金額は平均 6.9 万円（前年夏比 8 千円増）。妻が自由に使える金額は平均 5.2 万円（前年夏比 9 千円増）。夏のボーナスが“多くなる”との予想が増加したのを反映し、自由に使える金額は前年の夏から夫・妻ともに増加した。

[グラフ 6：自由に使える金額はどれくらいですか] （単位：万円）



この調査に関するお問い合わせ先は
 西日本シティ銀行 広報文化部 長谷川 TEL 092-461-1869
 NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 原 TEL 092-476-3051